



(株)東芝 柏崎工場 サイトレポート情報	
所在地	: 新潟県柏崎市大字軽井川931番地21
敷地面積	: 33,567m ² 、建家面積: 9,058m ² 、緑化率14.2% (規制対象外)
設立	: 2010年10月、従業員: 112人 (2011年3月現在)
主要製品	: 二次電池SCiB™
ISO14001認証取得: 1996年6月 (電力流通・産業システム社グループとしての統合認証、 実施年月: 2011年2月)、最新更新年月: 2010年1月 (ISO認証番号: EC99J2004)	



ごあいさつ

(株)東芝柏崎工場は新潟県中越地方の柏崎市に立地し、周囲に田園と里山が広がる自然豊かな環境で、2010年10月に開設しました。私たちが製造する二次電池SCiB™は、優れた安全性と急速充放電特性を兼ね備え、さらに長寿命であるため廃棄物の発生を減らすことができます。近い将来はスマートグリッドの蓄電池として低炭素化社会の実現にも貢献できると考えています。製造プロセスにおいても、数々の施策を展開し、エネルギー使用量の低減化を図っています。このように電池の提供を通じて社会の環境保全に貢献できるように従業員一丸となって取り組んでいきます。



環境保全責任者 高橋 不二男

2010年度の環境の主な取組み

- ☆2010年9月建屋竣工
事務所や街灯へのLED照明の採用や、空調、動力関係にも高効率の機器を導入し、電力使用量の低減化を図っています。
- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
2010年2月にシステム変更サーベイランス (拡大) 審査を受査しました。
- ☆全員参加・啓発活動の展開
省エネ月間の環境啓発活動を実施しました。

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



二次電池SCiB™ 20Ahセル

廃棄物削減

寿命が長いので、
電池の交換回数が削減できます。

環境負荷物質低減

特定化学6物質等の環境影響物質を
使用していません。

エネルギーの有効利用

優れた性能のため、SCiB™は
数々の機器で、限られたエネルギーを
効率的に使うことのできる電池です。

環境コミュニケーションの紹介

- ・我が家の環境大臣エコファミリーの登録推進
- ・地域環境ボランティア活動参加

(株) 東芝 府中事業所 環境保全基本方針

私たちは、社会インフラを支える電力・産業・公共・交通・放送・通信システム・新エネルギー関連システムや、これらシステムを構築するコンポーネントまで幅広い製品を社会に送り出しています。21世紀に新たに発展していく企業として“かけがえのない地球環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務”との認識に立ち、「調和から貢献へ一歩進んだエコファクトリー」を目指し、技術的・経済的に可能な範囲で次の活動を推進していきます。

- (1) 環境保全への取組みを事業所経営の最重要課題の一つとして位置付け、生物多様性を含む環境影響評価を行い、環境目的及び目標を設定して、**環境マネジメントシステムの継続的な改善・向上に全員で取り組みます。**
- (2) 事業プロセスにおいて、次の環境配慮活動に取組み、環境負荷低減に努めます。
 - ・生産設備、動力供給設備等に使用する電気・ガス等削減による
CO₂排出量削減
 - ・製品の製造、輸送時に発生する廃棄物量の削減等、廃棄物3R推進
 - ・原材料の見直し、環境関連設備改善による、化学物質排出量削減
 - ・資材調達先に対する環境評価・指導実施によるグリーン調達推進
- (3) 環境保全に関する法令、協定等の遵守は企業の最低限の責務との認識に立ち、**より厳しい自主基準を設けて管理します。**
- (4) 環境教育を実施し、環境監査による確認を行なうと共に、主要協力会社に対する指導・支援を行います。
- (5) 地域社会との協調連帯により環境活動を通じて社会に貢献します。
 - ・相互理解の促進のために、**積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。**
 - ・**地域社会の環境活動に参画・協力します。**

「環境スローガン」

**調和から貢献へ
一歩進んだエコファクトリー**

2011-4-1

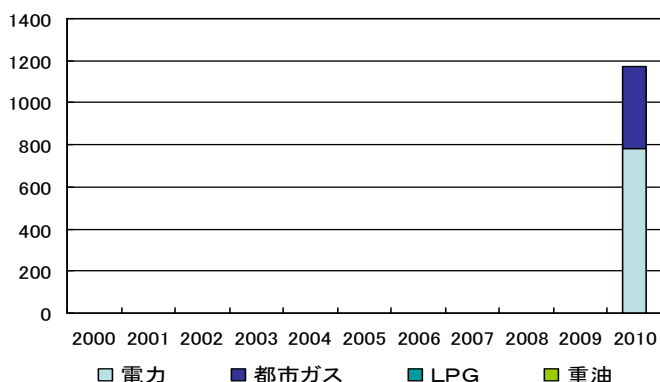
(株)東芝 府中事業所 所長
環境保全責任者

松川 良

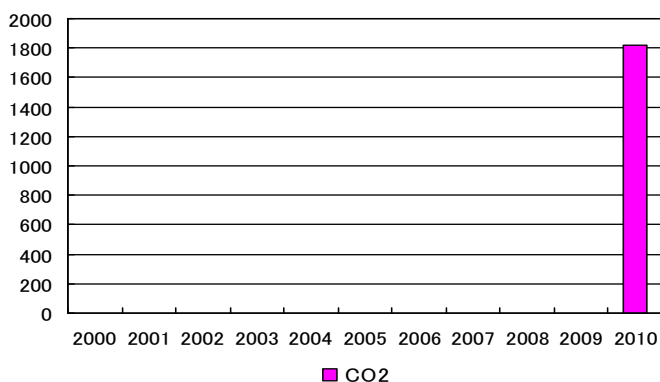
柏崎工場は府中事業所の環境マネジメントシステムに属しています

環境負荷データ

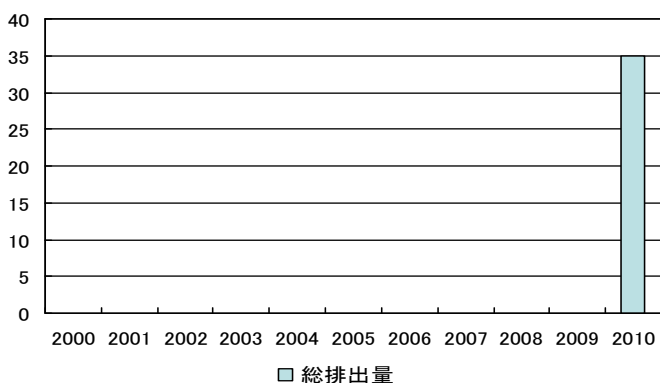
エネルギー使用量(単位:KL)



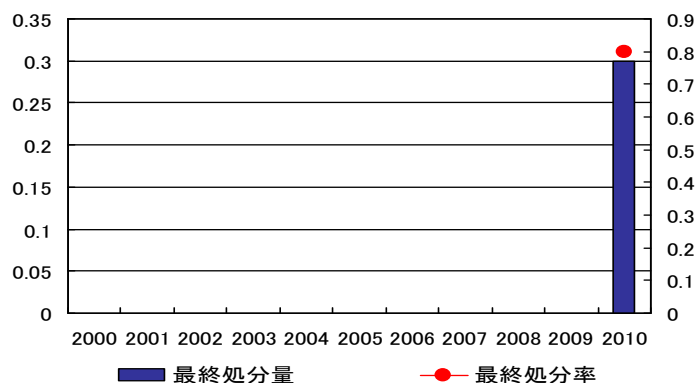
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

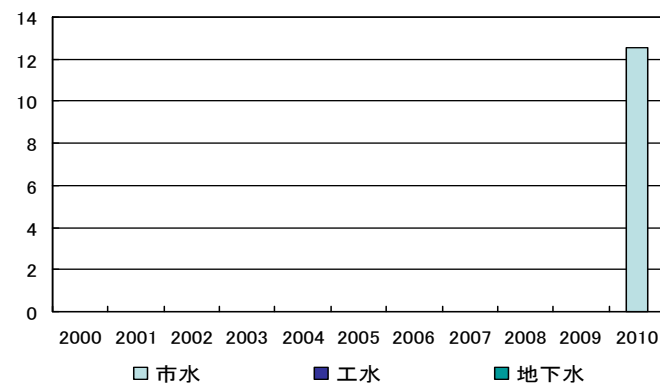


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

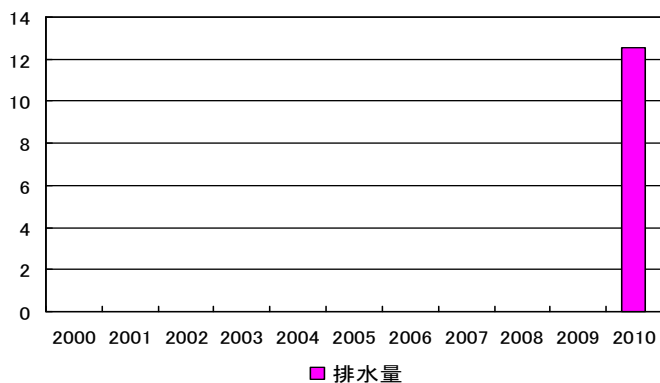


主な廃物名: 廃プラスチック類、廃油、紙くず、木くず、金属くず

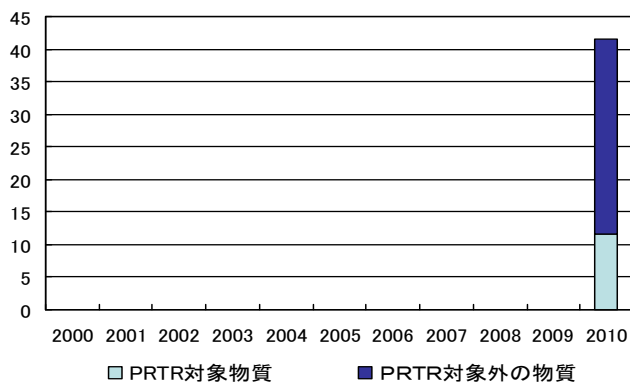
水の使用量(単位:千m³)



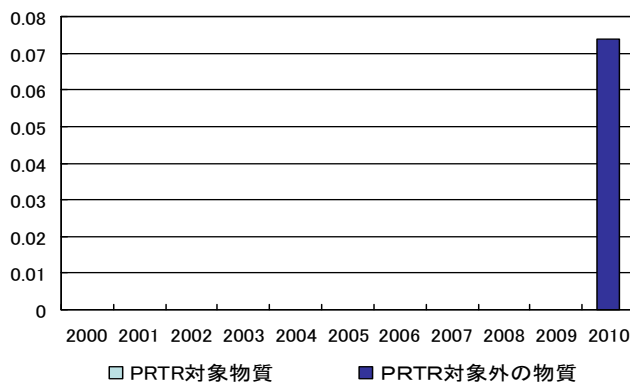
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: NMP、コバルト化合物、ニッケル化合物、マンガン化合物

遵法管理状況

<大気測定結果> 多管式貫流ボイラー(都市ガス使用) 6台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	130	65	27~35	年2回
SOx(Nm3/h)	7.1	0.1	0.01未満	年2回
ばいじん(g/Nm3)	0.1	0.05	0.01未満	年2回

<排水測定結果> 放流口2箇所(①、②)から下水道へ放流

	規制値	自主管理値	実測値(①、②)	測定頻度(①、②)
水素イオン濃度(pH)	5~9	6.0~8.5	7.9、8.3	週1回、月1回
BOD(mg/ℓ)	600	300	1、44	週1回、月1回
COD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	600	300	1未満、47	週1回、月1回
窒素(mg/ℓ)	380	190	1、26	週1回、月1回
フッ素(mg/ℓ)	8	4	0.5未満、0.5未満	週1回、年1回

<騒音・振動測定結果> 規制対象外(自主測定)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	対象外	—	39~51	年1回
	敷地境界:夜	対象外	—	39~51	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	対象外	—	30未満	年1回
	敷地境界:夜	対象外	—	30未満	年1回

<その他測定結果> なし

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	—	—	—	—
SS(mg/ℓ)	—	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし